

ふるさと大好き、やさしくたくましい子どもが育つ町



日本海に沈む夕陽



世界自然遺産白神山地

教師の授業改善により、よりよい授業を目指し子どもたちの学力向上を図ります。

ふるさとへの愛着を育てるとともに、グローバルな社会に対応できる人材を育てます。

子どもたち一人一人を大切にし、安全安心な環境でやさしい心とたくましい体を育てます。

学校HP等リンク



八森小学校

峰浜小学校

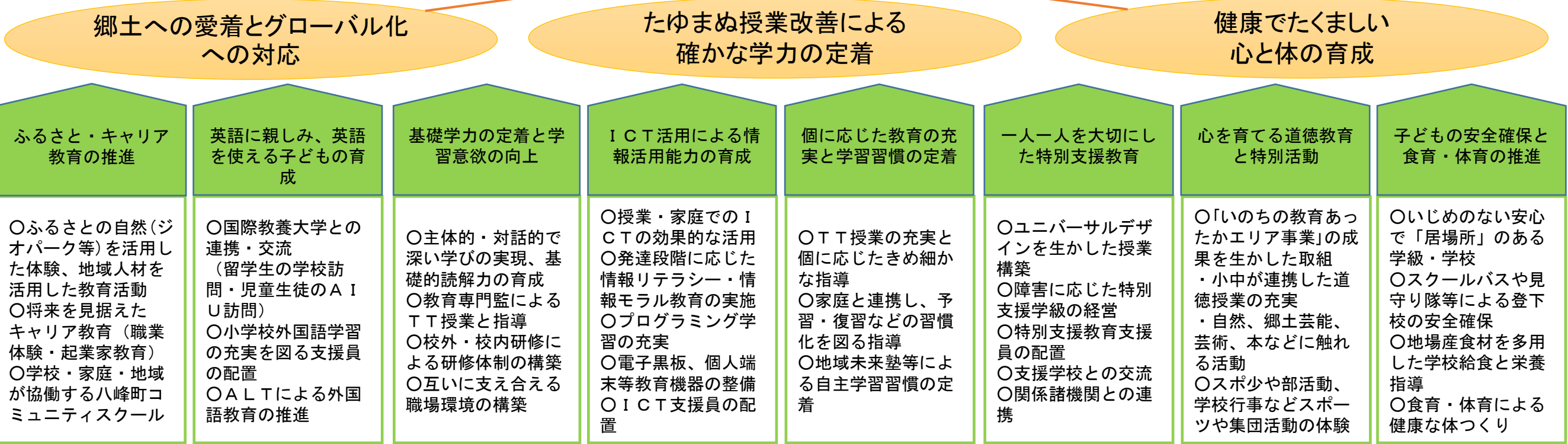
八峰中学校

コミュニティスクール

学校教育の指針(県)
豊かな人間性を育む学校教育
ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志
にあふれる人づくり
Ⅰ 思いやりの心を育てる
Ⅱ 心と体を鍛える
Ⅲ 基礎学力の向上を図る
Ⅳ 教師の力量を高める

2022八峰町学校教育グランドデザイン
～彩り豊かな文化とふるさとをささえる人づくり～
八峰町学校教育の目標
ふるさとを愛し、豊かな心を持ち、力強く生き抜く人間の育成

北の学校教育の重点
確かな学力を身に付け、ふるさとを支えていこうとする強い気概をもった児童生徒の育成
1主体的で創意に満ちた教育活動の推進
2心豊かで、たくましい児童生徒を育む指導
3基礎学力の向上を図る学習指導
4幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修



【小中学校共通実践事項】 学校・家庭・地域では「元気なあいさつ！ 明るい返事！」

各校における特色ある教育課程の編成		
峰浜小学校	八峰中学校	八森小学校
知・徳・体の調和のとれた ふるさとに生きる子どもの育成 <重点的な取組> ○峰小授業スタイルを通した主体的・対話的で深い学びの実現 ○仲間と力を合わせ主体的に活動する態度の育成 ○体力づくりの推進と望ましい生活習慣の定着 ○ふるさとに根ざした活動を通したキャリア教育の充実	たくましい心と体で 地域とともにある生徒の育成 <重点的な取組> ○生徒一人一人に寄り添った安心・安全な学校づくり ○自己有用感を醸成するための学びの充実 ○地域との連携・協働による、ふるさとを舞台にしたキャリア教育の充実	よさを伸ばし、つながり、拓く子どもの育成 <重点的な取組> ○よさを伸ばし合う子どもの育成 ○つながりを大切にする子どもの育成 ○自らとふるさとを拓く子どもの育成

学校教育に対する教育委員会の基本姿勢

- ・ 学校が保護者や地域の期待に応じて特色ある教育活動を展開できるよう、人的配置や施設設備など教育環境を整備する。
- ・ 学校が一層保護者や地域住民に開かれ、信頼されて、さらに地域の教育力を活用した教育実践が行われるよう教育行政としての役割を果たす。

八峰町小中学校の特色ある教育①

ふるさと八峰町を学びの場とした体験活動により、ふるさとの良さを体験するとともに、自己の将来を考える「**地域に根ざしたキャリア教育**」を実践しています。平成31年1月、実績が評価され、キャリア教育優良教育委員会文部科学大臣賞を受賞しました。

このことを推進するため、平成29年度より3小中学校で**コミュニティスクール**を導入し、町ぐるみで子どもたちを育てる体制づくりをしています。

峰浜小学校

- ・街中施設体験
- ・ヒマワリ栽培
- ・峰浜ナシ見学とPR活動
- ・カミツレ・ラベンダー収穫
- ・稲作・そばづくりの学習
- ・地元講師による俳句教室
- ・おはなしの会「かもめ」
- ・小中連携地区奉仕活動

八峰中学校

- ・地域産業学習とPR活動
- ・地域利ジ 川商品開発PR
- ・認知症サポート養成講習
- ・人権教室「SNSの使い方」
- ・八峰白神ジオパーク体験
- ・小中連携地区奉仕活動

八森小学校

- ・街中施設体験
- ・真瀬川鮎の放流
- ・サツマイモ苗植えと収穫
- ・花壇整備と花植
- ・八峰白神ジオパーク体験
- ・親子でジオ
- ・おはなしの会「かもめ」
- ・小中連携地区奉仕活動

コミュニティスクール

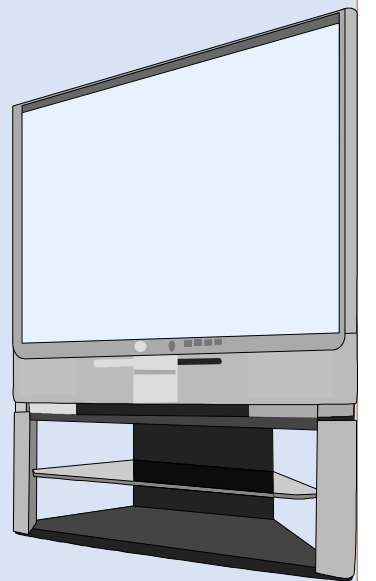
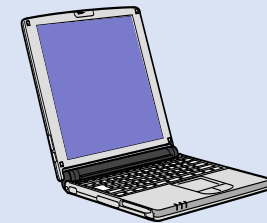
八峰町小中学校の特色ある教育②

平成24年から大型電子黒板やタブレットなどICT機器を整備し、授業等に活用しています。平成28年に全国ICTアワードで賞をもらうなど、先進的な取組を行っています。

デジタル教科書で視覚的に理解を促し、タブレットを活用した学び合いなど、効果的な活用による学力の向上とともに、情報リテラシーの習得にもつなげます。平成29年中学校が、平成30年2小学校が文部科学省「次世代の教育情報化推進事業」に取り組みました。

八峰町学校教育情報化整備

- ・インターネット接続サービスの改善
- ・すべての教室にモニター型75インチ大型提示装置・実物投影機
- ・児童生徒用端末（小に各70台、中に40台）
※令和2年度GIGAスクール構想により一人一台が実現
- ・各教科デジタル教科書
- ・授業支援ソフト（スクールタクト）、バーチャル英会話
ドリルソフト（eライブラリ）、プログラミング学習（たこロボ）



◎教職員の負担を軽減し利活用を支援するICT支援員の配置（各校1名）

八峰町小中学校の特色ある教育③

将来グローバルな社会で活躍できるように、英語教育にも力を入れています。平成19年から**国際教養大学と提携**し、当大学への留学生が年10回八峰町を訪れ（うち町内宿泊5回）、子ども園・小中学校・地域住民との交流を行っています。

日常の英語の授業では町で採用しているALTが、小学校では**外国語指導支援員**が学級担任と一緒に指導しています。

令和3年度、中学3年生の英語検定3級以上取得率は、文部科学省が提示している目標値50%を上回る52.2%でした。

国際教養大学との交流（令和元年度）			
5月	オリエンテーション	12月	中学生との交流
6月（1泊）	中学生・園児との交流	1月	餅つき・書初め、町民と交流
7月（1泊）	小学生との交流・トレッキング	2月（1泊）	小学生との交流・母国の紹介
9月	稲刈り体験	各学校で国際教養大を訪問	
10月（1泊）	小中学生との交流・トレッキング		
11月（1泊）	小中学生・園児との交流		

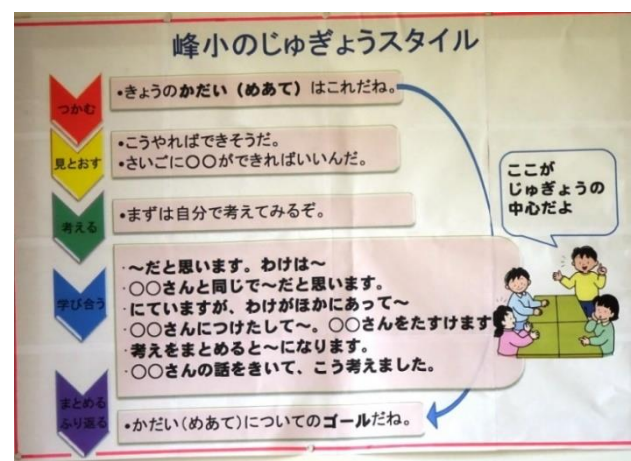
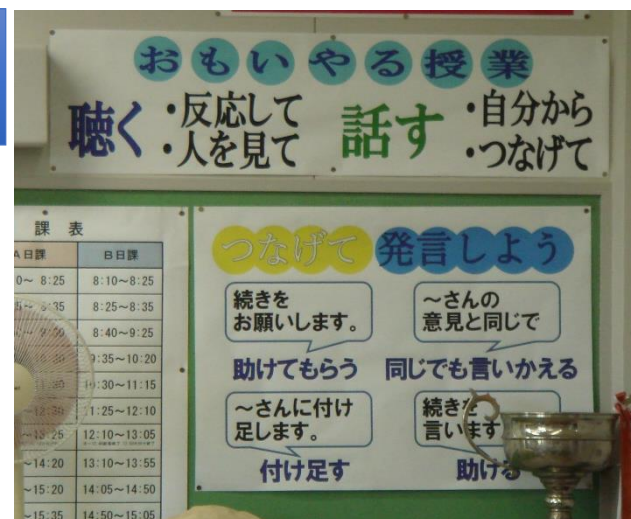
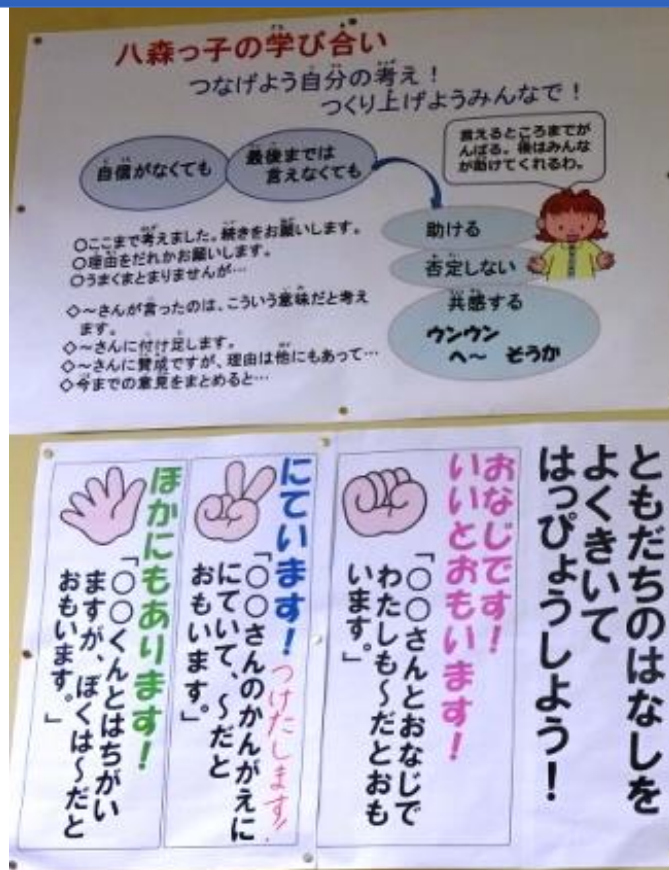
八峰町小中学校の特色ある教育④

各学校の学びのスタイルが浸透し「主体的・対話的で深い学び」の実現に取り組んでいます。小学5・6年の算数・中学1年の数学では教育専門監が担任とともにレベルの高い授業を行っています。

先生同士でさらに良い授業を目指し「授業を見合う会」などで研修し合っています。

学級への新聞配置や図書室の充実、授業での重点的指導等により、基礎的読解力の育成にも力を入れています。

学びのスタイル共通実践



基礎的読解力の育成の一環として、
学級に設置した新聞を活用

八峰町小中学校の特色ある教育⑤

「すべての子どもを大切にする」教育が根底にあります。

多くの授業をTTで実施し、教師が役割分担をするとともに、一人一人に目を配って授業を進めます。

特別支援学級ではその子の特性に応じた個別授業を行い、交流学級への授業参加により社会性も育みます。

普通学級で遅れ気味の子ども、集中力が不足な子どもに必要なに応じて支援する**特別支援教育支援員**を配置し、一人も遅れることなく授業に取り組めるよう支援します。特別支援活動支援員には教員免許（またはそれに準じた資格）を持つ人を採用し、3校に15名を配置しています。



その他の取組

地域未来塾

町に塾がないので部活動を終えた中学3年生を対象に放課後学習会、長期休業中は午前3年生、午後1・2年生の学習会実施（指導は教員免許を持つ支援員）



読書活動の推進

町に本屋がないので学校の図書室や公民館の図書室の蔵書を充実させています。各地区を巡回する移動図書館「としょカーン」も読書活動推進に役立っています。



地域活動への参加

地域とのつながりで心を育てます。



地域の伝統芸能や行事に積極的に参加します（石川の駒おどりに参加する小学生）



地域に元気を届けよう！地域の人たちと一緒に盛り上げた「八森っ子げんきみこし」

八峰町の子育て支援

